

PHENOMENON YOICHI SHIRAISHI

白石陽一展 土の現象

2017. 7.22 SAT - 30 SUN



料金後納
ゆうメール

大地は太古の時代より、地殻変動によって隆起を繰り返し、風雨にさらされ山を削り、壮大な地形を生み出してきました。土を素材とする陶芸の世界。日常作業のなかで、バケツの中の粘土が乾いた後にできる自然な陥没や凹凸に、ミクロながらも地質のダイナミックな現象を見る事があります。泥状の粘土が作り出すこの景色を、そのまま手を加えずに留める事ができれば何と美しいことだろう。土の自然現象をトリミングしたい。白石さんの作品の根底には、そんな思いが貫かれています。

岐阜県瑞浪市で制作する白石陽一さん。社会経験を経て、多治見意匠研究所へ入所。その後、個展やグループ展を中心に活動しています。白石さんの作る陶芸作品は、泥漿鑄込みを基本とする技法です。泥状の磁土を型枠に流し込み、乾燥によって生まれる土の表層をそのまま活かしたオブジェ、花入れ、食器を製作しています。

陶芸の場合、焼成の段階で窯の中でおこる自然現象に委ねることは一般的なことです。白石さんの場合、粘土の成形の段階でなるべく人為的な手を加えず、土の物理的な現象をそのまま作品に取り入れるのが特徴なのです。

今回、従来より手掛けている泥漿鑄込みの作品の他に、粒状にした粘土を型枠に集積させ、荒々しい土の表情を焼き固めた新作も出品します。土の粒子が生み出す造形を客観的に捉えた白石作品。人智の及ばぬ「土の現象」をアートピースや器の中に封印した美しい景色に、きっと魅せられることでしょう。夏の盛りの開催となりますが、是非ご高覧頂ければ幸いです。

店主

白石陽一プロフィール

1981年 福岡県生まれ

2010年 多治見市陶磁器意匠研究所 修了
個展・グループ展などで活動

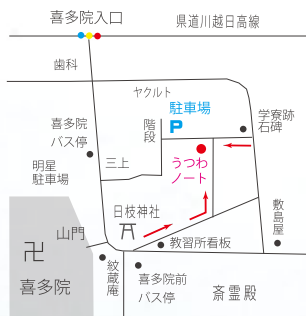
2017年 現在、岐阜県瑞浪市にて制作

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6

TEL 049-298-8715

MAIL utsuwanote@gmail.com



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分

本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分

バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり] ~ [喜多院前]

駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス] ~ [喜多院]

車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(5~8番)

白石陽一展 土の現象
2017年 7月22日(土) ~ 30日(日) 会期中無休
営業時間 11時 ~ 18時 作家在廊日 7月22日(土)・23日(日)・29日(土)・30日(日)

